

(午後四時十分閉會)

相  
密  
院

帝國ト國際聯盟諸機關ト、協力關係終止ノ件  
審査委員會

昭和十三年十月二十七日(木曜日)本院事務所ニ於テ開會

出席者

平沼 議長

審査委員長

原 副議長

審査委員

密  
院

和  
密  
院

河合顧問官

鈴木(貫太)顧問官

石井顧問官

有馬顧問官

石塚顧問官

林顧問官

南顧問官

奈良顧問官

國務大臣

近衛内閣總理大臣  
兼外務大臣

説明員

米内海軍大臣

木戸厚生大臣

船田法制局長官

森山法制局參事官

澤田外務次官

三谷外務省條約局長

大久保外務書記官

西村外務書記官

下田外務事務官

密  
院

芳賀外務事務官

井上海軍少將(海軍省軍務局長)

神 海軍中佐(海軍省軍務局員)

廣瀨厚生次官

林 厚生省衛生局長

成田厚生省勞働局長

越村厚生事務官

村上書記官長

堀江書記官

高辻書記官

(午前十時五分開會)

原委員長開會ヲ宣ス

近衛内閣總理大臣兼外務大臣ヨリ本案ノ措置ヲ必要

トスル理由及其ノ内容ノ大綱ニ付説明アリ更ニ三谷條

約局長ヨリ詳細ナル説明アリ

河合顧問官ヨリ帝國ト國際聯盟諸機關トノ協力關

係ヲ持續スルコトガ帝國ノ威信ニ關スト爲ス質問アリ

三谷條約局長ヨリ國際聯盟ガ帝國ノ對支行動ヲ以テ

制裁ヲ加へ得ベキモノト認定ヲ下シタル以上之ト協力  
關係ヲ持續スルコトハ列國ノ侮リヲ招ク所以ナルベ  
キ旨ヲ答辯ス

石井顧問官ヨリ支那ガ聯盟ノ各種委員會ヲ政治  
的ニ利用シタル事例ヲ質シ三谷條約局長ヨリ阿片  
諮問委員會、保健委員會ノ狀況ニ付説明アリ  
同顧問官ハ聯盟諸機關トノ協力關係終止ノ後々  
於テモ委任統治年報ノ提出ハ之ヲ繼續スルモノト  
セバ之ガ説明ヲ必要トスル場合ハ説明員ヲ出席セ  
シムルヲ適當トスベシトシ此ノ點ニ關スル政府ノ所

見テ質シタルニ對シ三谷條約局長ヨリ年報ノ提出ハ  
帝國ガ受任國タルノ義務ニ屬スベキモ説明員ノ出  
席ハ聯盟規約又ハ委任統治條項上ノ義務ニ非ズ單  
ナル協力ニ屬スベキヲ以テ之ヲ拒否シ説明ヲ必要ト  
スル場合ハ一般ノ外交的措置ニ依ルコトヲ答フ  
石塚顧問官ハ聯盟諸機關トノ協力關係終止ニ付テノ  
實益ヲ問ヒ三谷條約局長ヨリ制裁ニ及ボス影響ハ  
ナキモ其ノ措置ノ止ムヲ得ザル理由ヲ述ブ  
同顧問官ハ聯盟諸機關ノ中ニハ協力關係ヲ持續  
スルヲ適當トスルモノナキカラ質問シ三谷條約局

長及廣瀨厚生次官ヨリ各種機關ニ付協力關係ヲ  
終止スルモ差支ナキ旨答辯アリ

同顧問官ハ更ニ委任統治年報ノ提出モ拒否シテ可  
ナルニ非ズヤト質問シ三谷條約局長委任統治制度ノ  
由來ヲ述べ年報ノ提出ハ受任國ノ義務ナルコトヲ  
答フ

南顧問官ヨリ帝國が曩ニ國際聯盟ト對立關係ニ立  
チタル際之ヲ晚退シタルハ可トスベキモ世界人類ノ  
福祉増進ヲ目的トスル委員會ト協力ヲ絶ツニハ當ラ  
ズトシ政府ノ所見ヲ質シ三谷條約局長ヨリ委員會

ヲ組成スル委員ハ政治機關タル理事會ガ之ヲ任命  
スル場合多ク之ト對立關係ニ在ル以上委員會トモ協  
カスルハ困難且利益尠カルベク聯盟關係以外ノ平和  
的協力ハ固ヨリ之ヲ繼續スベキ旨答辯ス

奈良顧問官ヨリ本通告ハ止ムヲ得ザルベキモ實際  
ノ措置ニ當ツテ穩當ヲ期セラレタキ旨ノ希望アリ  
原委員長ヨリ聯盟諸機關ニ於ケル人的關係皆無トナ  
ル結果支蘇兩國が勝手ニ振舞フノ虞アルニ對シ政府  
ノ對策ニ付質問アリ三谷條約局長ヨリ一般ノ外交機  
關ニ依リ適當ナル對策ヲ講ジタキ旨答辯アリ

原委員長ハ之ヲ以テ質問終了ト認メ國務大臣及說明員ノ退席ヲ述ム

(國務大臣及說明員退席)

委員間ノ協議ニ入り各員ヨリ夫々意見ノ陳述アリタル後本案ハ此ノ儘可決スベキモノト議決シ審査報告書ノ作成ハ之ヲ委員長ニ一任スルコトニ決ス  
仍テ原委員長ハ閉會ヲ宣ス

(午後零時五十分閉會)

文化的協力ニ關スル日本國獨逸國間協定締結ノ件  
審査委員會

昭和十三年十一月十六日(水曜日)本院事務  
所ニ於テ開會

出席者

平沼 議長

審査委員長

原 副議長

審査委員